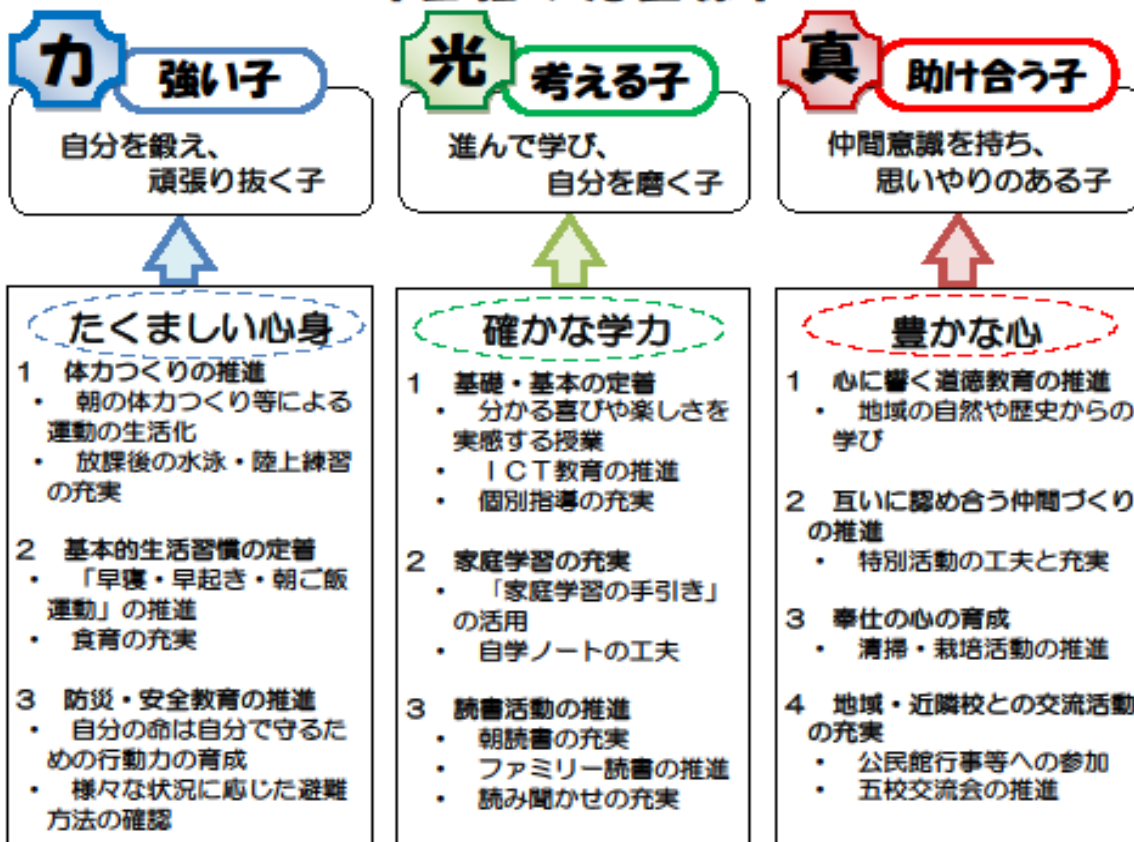


令和5年度 教 育 計 画 宇和島市立蔦淵小学校						学校番号 025	
校長名	和田 幸久	学級数	2	児童数	3	教職員数	4

令和5年度 蔦淵小学校 学校教育目標

豊かな心を持ち、自分の力でたくましく生き抜く蔦淵っ子の育成

【目指す児童像】



活力ある学校 地域と共に歩む学校 居心地のよい学校
指導力を持った教師 夢を育む教師 人間力を備えた教師



フットワーク・ネットワーク・チームワーク

重点目標	1 「確かな学力」の定着と向上 (1) 学ぶ目的や意味を理解させ、分かる喜びや楽しさを児童に実感させながら、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 (2) 地域の豊かな自然や文化、人と関わり合う体験的な学習を積極的に展開し、思考力、判断力並びに自分の考えを分かりやすくまとめて伝える表現力を育てる。 (3) 家庭と連携して学習習慣の確立に努め、自ら進んで学習に取り組む児童を育てる。 (4) 学校や家庭での読書活動を推進し、言語活動の充実と読解力の育成に努める。 2 「豊かな心」の育成と人権教育の推進 (1) 地域の豊かな自然や歴史、人材等を活用した「心に響く道徳教育」の推進を通して、自立心や自律性、規範意識を備えた人間性に満ちた児童の育成に努める。 (2) 相手の立場を考えた思いやりのある言動を定着させ、互いを認め合うことで仲間意識を育てる集団を構築し、誰もが居心地のよい雰囲気づくりに努める。 (3) 人権尊重の理念に基づき、自他のよさを認め、互いに尊重し合い、共に生きる人権・同和教育を推進する。 3 「たくましい心身」の育成と生徒指導の充実 (1) 体育科の充実を図るとともに、朝の体力づくり等の取組を通して、運動の習慣化を図り、元気でたくましい心身を育成する。 (2) 学校内外における児童の生活実態の把握に努め、日常の生活指導をきめ細やかに行い、基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 自校給食という利点を生かし、地域食材の活用、季節を考えた献立を行うことで、児童に望ましい食感覚、食習慣を身に付けさせる。 (4) 全職員体制で取り組む「教育相談」を充実させ、教師と児童及び保護者との信頼関係や児童相互の好ましい人間関係を構築するとともに一人一人の児童理解に努める。 4 特別支援教育の充実 (1) 特別支援教育コーディネーターを中心に、児童一人一人の実態に応じた指導内容・指導方法の在り方についての研修を深め、教育活動に生かす。 (2) ユニバーサルデザインの学級づくりと授業づくりを推進する。 5 防災・安全教育の推進 (1) 「自分の命は自分で守る」という意識に基づいた安全教育を計画的に実施し、児童に自助・共助の態度を身に付けさせる。 (2) 学校を取り巻く様々な環境を基に多様な想定での避難訓練を実施し、児童一人一人に危険を察知する能力及び回避能力を身に付けさせる。
管理運営	1 人的管理 <心> (1) 温かい人間関係に基づく責任体制・協働体制が確立された職場づくりに努める。 (2) 保護者や地域人材による学校支援体制の構築を図り地域との協働体制づくりに努める。 (3) 学校教育活動支援員及びスクールヘルスリーダーと連携・協働することで、教職員の心理的安全性の確保と健康の保持増進を図るとともに、子供と向き合う時間を確保する。 2 物的管理 <物> (1) 教職員の危機管理意識の高揚と安全・安心な教育環境づくりに努める。 (2) 施設・設備・備品の計画的な整備と効果的な活用に努める。 3 事務管理 <流れ> (1) 城東共同学校事務室との連携を図り、正確で迅速、適切な事務処理に努める。 (2) 校務支援システム「いっぽ」・「ミライム」の効果的な活用に努め、業務改善を図る。
本校教育の特色	本校は、足摺宇和海国立公園を望む豊かな自然環境の中に位置し、保護者並びに地域住民の学校教育活動に対する関心は高く、非常に協力的である。児童3名は、明るく素直で学年の枠を越えて仲良く元気に活動している。本校の文化と伝統を継承しつつ、愛媛県教育委員会並びに宇和島市教育委員会の基本方針に基づき、児童の「生きる力」を育み、一人一人のウェルビーイングと包摂的で持続可能な地域社会の共創を目指して、地域と共に歩む学校づくりに努める。